

平成 30 年度

# 事業報告書

自 平成 30 年 4 月 1 日  
至 平成 31 年 3 月 31 日

公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター

**公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター**  
**平成 30 年度事業活動報告**

国が定めた「東日本大震災からの復興の基本方針」による復興期間である 10 年間で平成 32 年度までとなる中、産業や生業の再生、交通・物流網の構築と整備、被災者の支援や恒久住宅の完成、まちの復興も含め、総仕上げに向けて着実に進展している状況にあります。

復興から創生へという新たな段階を迎えつつある中、当センターでは、これまで取り組んできた企業連携による事業活動の活発化、新たな市場や販路の確保への取り組み、技術高度化など地域企業の課題の解決に対する支援に注力しました。

地域資源を活用した商品開発などの取り組みにおいては、専門家による継続的な指導により、消費者が真に求めている商品開発の重要性を参加企業に理解していただくことができました。

ものづくり企業の企画力・デザイン力向上、提案力の強化、市場における優位性確立のための支援を継続したほか、技術力高度化のため、当センターに入居する岩手大学釜石ものづくりサテライトの人材、設備を活用した技術支援を継続実施いたしました。

釜石市沖の海洋再生可能エネルギー実証フィールドの利活用による地域経済の活性化については、平成 27 年度からの実海域試験により積み重ねた実績を活かした、地域が主体的に取り組める新たなテーマの探索に努めたことにより、有望なものに辿り着くことができました。

被災地のみならず全国の地域にも共通する中長期的な課題である、人口減少や産業の空洞化に対する新規産業の創出や企業による新分野への進出については、国立研究開発法人産業技術総合研究所や森林総合研究所をはじめとする諸機関や企業・大学等との新たな連携を構築しながら、セルロースナノファイバーの地産地消などの新たなテーマについて実現の可能性を検証しながら取り組みを進めており、次年度以降も鋭意継続してまいります。

なお、これらの事業の実施にあたっては、今後とも行政、大学、産業支援機関、団体等との連携により、産業基盤の強化と地域経済の活性化に向けて事業を推進してまいります。

## 【 公1 地域産業育成支援事業 】

### 1. 高度ものづくり産業推進事業（岩手県、釜石市補助事業）

決算額：20,648千円（岩手県3,005千円、釜石市17,640千円）

#### 1 目的

釜石・大槌地域における金属材料とGFRP等の複合材料など市場投入の可能性が有望なテーマについて、企業それぞれの技術力の高度化を図りながら、企業同士が連携することにより、付加価値や優位性を向上させ、関連する産業集積規模の拡大と雇用創出を目指す。具体的には、先進企業や専門家からの技術指導や研修会を行い、ものづくり技術の高度化と企業連携による付加価値の向上を図る。

また、岩手大学に委託して、ものづくりサテライトの機材を使用した難削材加工技術等に関する技術支援を行う。

#### 2 実施内容

##### (1) 研修会の開催（高付加価値型ものづくりプロジェクト）

以下の5テーマについて、専門家を招聘し技術的研修を実施した。

##### ①複合材料 製品開発・市場投入実践研修（複合材料を活用した製品開発等）

開催結果（全体）	5回開催 計56名参加
講師	岩手大学人文社会科学部 教授 田中隆充氏、 岩手大学理工学部 准教授 大西弘志氏
各回の演題	・第1回 H30.4.19（木）開催 （複合材料を活用した製品開発や事業展開の可能性） ・第2回 H30.8.17（金）開催 （ふるさとものづくり支援事業協議、意見交換） ・第3回 H30.11.22（木）開催 （FRPを活用した事業展開、災害時における活用等） ・第4回 H31.2.12（火）開催 （社会基盤整備に関する事例紹介及び新素材、新工法等） ・第5回 H31.2.22（金）開催 （FRPを活用した商品企画）

②金属材料 製品開発・市場投入実践研修（金属材料を活用した製品開発等）

開催結果（全体）	6回開催 計66名参加
講師	(株)小松精機工作所 専務取締役 小松隆史氏、(株)松一 代表取締役 松澤正明氏、(有)クローバーデザイン 代表取締役 宮本総子氏、デザイナー 細川由佳氏
各回の演題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回 H30. 4. 25（水）開催 （自社製品開発における開発経緯、成功・失敗事例）</li> <li>・ 第2回 H30. 6. 14（木）開催 （市場投入に向けた製品の戦略・区分けについて）</li> <li>・ 第3回 H30. 8. 7（火）開催 （製品の価格設定、原価計算手法について）</li> <li>・ 第4回 H30. 10. 25（木）開催 （研磨加工工程における実践指導、対外的なPR手法、）</li> <li>・ 第5回 H31. 2. 26（火）開催 （製品製作・販売までのスケジュール管理について）</li> <li>・ 第6回 H31. 3. 7（木）開催 （製品完成後のプレス発表手法、情報発信手法について）</li> </ul>

③開発力強化研修（デザイン、WEBを活用した発信力強化、外部資金獲得手法）

開催結果（全体）	5回開催 計62名参加
講師	(株)エディショonz 代表取締役 金谷克己氏、(株)kedama 代表取締役 武田昌大氏、宮本企画室 代表 宮本順一氏、(株)羽田未来総合研究所 創生事業戦略部ディレクター 石黒浩也氏
各回の演題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回 H30. 7. 27（金）開催 （自社分析とマーケティング、デザイン戦略について）</li> <li>・ 第2回 H30. 8. 23（木）開催 （プロモーション、広告、展示会ブース活用について）</li> <li>・ 第3回 H30. 9. 14（金）開催 （HP、SNSの発信手法、クラウドファンディングについて）</li> <li>・ 第4回 H30. 11. 5（月）開催 （ECサイト、WEBショップ等を活用した発信手法等）</li> <li>・ 第5回 H31. 1. 11（金）開催 （バイヤー目線からみたものづくりや情報発信手法）</li> </ul>

④先端材料活用研修

開催結果（全体）	5回開催 計81名参加
講師	平松先端材料事務所 所長 平松徹氏、(株)小松精機研究所 専務取締役 小松隆史氏、(株)松一 代表取締役 松澤正明氏、東北大学金属材料研究所 教授 千葉晶彦氏、アイカーボン(株) 代表取締役伊集院乗明氏、岩手大学釜石ものづくりサテライト研究員
各回の演題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回 H30.9.6（木）開催 （炭素繊維コンポジットの特性と用途について）</li> <li>・ 第2回 H30.10.26（金）開催 （高精度な切削・研削・研磨加工について）</li> <li>・ 第3回（先進企業視察） H31.1.31（木）～2.1（金）開催 （株）ジャムコエアロマニューファクチャリング、(株)コイワイ宮城工場、日本積層造形（株）等</li> <li>・ 第4回 H31.2.26（火）開催 （高精度な機械加工について）</li> <li>・ 第5回 H31.3.26（火）開催 （特殊合金開発と金属積層造形技術について、リサイクル炭素繊維からバイオプラスチックについて、成果報告会）</li> </ul>

⑤技術経営力強化研修（知的資産経営セミナー）

開催結果（全体）	6回開催 計54名参加
講師	大竹国際特許事務所 代表弁理士 大竹正悟氏
各回の演題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回 H30.10.17（水）開催 （知的資産経営、SWOT分析等について）</li> <li>・ 第2回 H30.11.13（火）開催 （ビジネスの機会・脅威に関するディスカッション①）</li> <li>・ 第3回 H30.11.14（水）開催 （ビジネスの機会・脅威に関するディスカッション②）</li> <li>・ 第4回 H30.12.11（火）開催 （強み、弱みに関するディスカッション）</li> <li>・ 第5回 H30.12.12（水）開催 （クロスSWOT分析、事業価値を高める経営レポート）</li> <li>・ 第6回 H31.1.16（水）～17（木）開催 （事業価値を高める経営レポート作成指導）</li> </ul>

## (2) 難削材加工技術等に関する技術支援（岩手大学釜石ものづくりサテライト）

地域中小企業が行う難削材や先端材料の高度加工、測定、設計について、その技術課題を克服するため、当センターに入居している岩手大学ものづくりサテライトの設置機材を地域中小企業が使用して試作品等の加工を行い、これに対して同サテライトの技術支援員が機器の操作、加工データ作成、デザイン、計測等を補助、アドバイスする技術支援業務を岩手大学に委託し、下記内容について支援業務を実施した。

### ①技術相談・技術指導の対応

46件（25社）

設置機材である、CAD/CAM、研削盤、ワイヤー放電加工、5軸マシニング、三次元計測を活用した技術指導、技術相談会、大学シーズ発表会を開催したほか、企業の相談に対し個別指導を行った。

### ②企業調査の実施

48件（41社）

### ③研究会などへの参加

研究会等 59件

### ④産学共同研究の推進

- ・GFRP製高台避難階段開発
- ・容器製造における分子接合工程研究
- ・木工製品製作における異種接合研究

### ⑤人材育成の実施

- ・技術講習会 7件  
（CAD/CAM、3次元測定器、金属加工、機械加工、旋盤がテーマ）
- ・高校生向け 1件  
（釜石・大槌地域産業フェア）

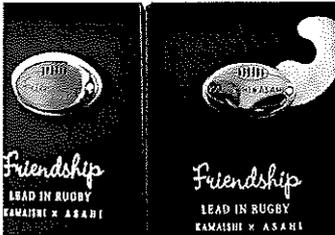
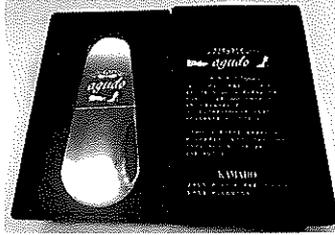
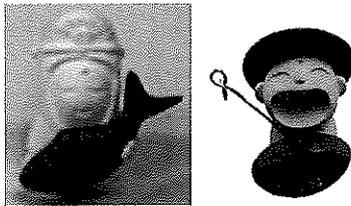
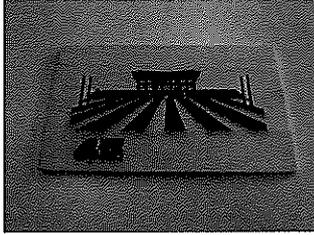
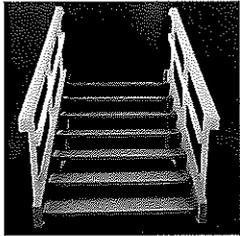
## 3 結果

### (1) 事業目標

- ①製品開発支援 2件
- ②産学共同研究実績 3件（岩手大学）

### (2) 事業実績

- ①製品開発支援 5件（うち3件、製品化に成功）

製品名	事業者	製品画像	販売実績
釜石市・朝日町友好のピンバッチ LEAD-IN-RUGBY	株式会社エイワ、岩手大学、朝日町		H30.10 販売開始
靴べら agudo	株式会社エイワ、株式会社山岸産業、オフィスキャドムス		H31.3販売開始
ほっこり大観音、地藏シリーズ	株式会社ササキプラスチック		H31.1販売開始
ラグビーワールドカップに向けた木工品	株式会社ササキプラスチック		いわて希望ファンド事業にて試作品製作
GFRP製避難階段	株式会社エイワ、株式会社三陸技研、有限会社須賀ケミカル産業		ふるさとのづくり支援事業にて製作

②産学共同研究実績 3件

研究テーマ	対象企業
GFRP製高台避難階段開発	(株)エイワ、(株)三陸技研、(有)須賀ケミカル産業
容器製造における分子接合工程研究	プラシーズ(株)
木工製品製作における異種接合研究	(株)ササキプラスチック

製品開発や開発後の情報発信手法など専門的な研修を実施したことにより、製品開発や試作だけではなく、製品化し販売に繋がることができた。また、技術的に地域内企業だけでは十分ではなかった加工工程を指導の専門家等のネットワークにより、地域を超えた連携をすることにより製品化に繋がった事例も出てきており、地域ものづくり企業の製品開発力の向上が図られた。

加えて、岩手大学ものづくりサテライトの研究員等の指導により、地域企業が抱える課題の解決に繋がる事例も多くあり、地域内にこのような体制が整っていることも製品開発の促進や技術力向上の大きな要因となっている。

## 2. 地域資源活用推進事業（釜石市補助事業）

決算額：1,401千円（釜石市1,400千円）

### 1 目的

地域資源の特産化・高付加価値化に向けた取り組みや、ヒット商品を企画・開発するためのプログラムを実施し、地域企業の基盤強化や競争力強化を図ることにより、地域食産業活性化の推進を図る。

### 2 実施内容

#### (1) ヒット商品開発プログラム

本プログラムは、オープンセミナーの他、公募により選定したモデル事業者2社を対象にワークショップを行い、商品化・ブランド化に必要な戦略・手法・考え方などを理解することと共に、商品の企画・開発から販売促進案の計画・実践・効果検証までのプロセスを実際に体験し、新商品の開発に必要な知識やアクションの習得・定着化を図ることを目的として実施した。併せて、昨年度のモデル事業者のフォローアップも継続し、商品化に向けた支援を行った。

前年度モデル事業者	テーマ	経過
ヒカリフーズ(株)	いか刺しめかぶの商品化	若手人材育成が目的のため 継続なし
釜石鉱山(株)	仙人秘水のマーケティング戦略	別途継続支援 (岩手大学～東経連)
藤勇醸造(株)	五穀甘粧の商品化	継続フォローアップ
(有)小島製菓	自家製餡を使用した商品の開発	継続フォローアップ

当年度モデル事業者	テーマ
(株)ヤマキイチ商店	高級加工食品の商品開発（泳ぐホタテの貝柱『極み』）
山崎清三商店	鐵珈琲ギフトセットの商品開発（南部鉄器コラボ商品）

### ①オープンセミナー・ワークショップ

全国に向けて売り出せる“ヒット商品”を企画・開発するために必要なUX視点（ユーザーエクスペリエンス）を理解してもらうためのセミナーを開催した他、モデル事業者を対象に全4回のワークショップを実施した。

開催結果（全体）	4回開催 計46人
講師	(株)ルグラン 代表取締役 共同CEO 泉浩人氏（全回） 〃 代表取締役 共同CEO 山辺仁美氏（第2回） NORTHEN LIGHTS 代表 福留千晴氏（第3回） ATELIER STORY 代表 蓮池陽子氏（第3回） グラビティワン(株) プロデューサー 安東千幸氏（第4回）
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回オープンセミナー・ワークショップ H30.8.31(金) 開催（ユーザーエクスペリエンスとデコンストラクションについて）</li> <li>・第2回ワークショップ H30.10.29(月)・30(火) 開催（プラン発表、ペルル設計とSWOT分析について）</li> <li>・第3回ワークショップ H31.1.21(月).22(火) 開催（プラン発表、SWOT分析とAISASについて）</li> <li>・第4回ワークショップ H31.2.22(金) 開催（最終プラン発表、総括）</li> </ul>

## (2) 地域資源活用普及事業

地域の貴重な資源である“はまゆり酵母”や“菊芋”等の高付加価値化・特産品化を目標に、地域の生産者や事業者と共に商品開発や利用普及・販売促進等に取り組んだ。

### ①「改良はまゆり酵母」実用化に向けた取り組み

岩手大学が発酵力改善を目的として育種した「改良釜石はまゆり酵母」の清酒醸造試験を行い、商業利用の可能性について評価・検討を行った。

—委託研究の実施—

- ・委託先：岩手県工業技術センター

- ・委託期間：平成30年9月3日～平成31年3月31日
- ・研究テーマ：「改良はまゆり酵母の酒造適性評価」
- ・研究内容：ア．小仕込試験によるはまゆり酵母と清酒酵母の性能評価  
                   イ．小規模醸造試験によるはまゆり酵母の特徴を活かした醸造法の検討  
                   ウ．製成酒の評価
- ・結果：本試験により改良はまゆり酵母は、今回比較した清酒酵母にはやや劣るものの清酒を醸造する酵母として十分な発酵力を持っていた。ただ香味に関しては野性的で特徴があり、好みが分かれるものと思われる。どのような客層をターゲットにするかなどマーケティングを考え使用することが肝要である。

②菊芋の利用普及と拡大：市内飲食店への菊芋の配布等

平成28年度より、市内の菊芋生産者や菊芋利用事業者との様々な取り組みを行ってきており、今年度も継続実施した。

- ・取組内容：生産量拡大に向けた取り組みとして、菊芋生産者への働きかけを行うとともに、市内飲食店や加工事業者へ、利用普及を目的に菊芋を配布。
- ・結果：メディア等で頻繁に取り上げられたこともあり、生産量が前年度の約4倍に増加（29年度500kg → 30年度2,000kg）。

③その他の商品開発支援等

当市出身の岩手県産業創造アドバイザー後藤晴彦氏からの提案により、「海藻バター」の製品開発に取り組んだが、バターを加工するには乳製品製造業の許可（保健所）が必要であり、管内で製造できる事業者がいなかったため、現在、県内でバターを製造・販売している事業者と交渉中。

また、沿岸広域振興局水産部と連携し、地場の水産品を原料にした商品開発支援を行った（釜石市：1社、大槌町：3社）。

### 3 結 果

(1) 事業目標

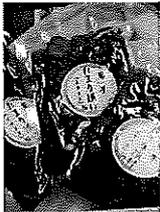
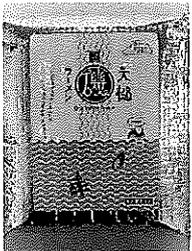
- |                        |    |
|------------------------|----|
| ①ヒット商品の開発              | 1件 |
| ②その他商品化・実用化・利用普及に向けた支援 | 3件 |

(2) 事業実績

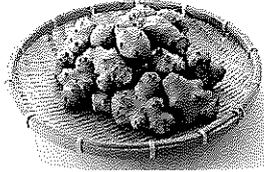
- |           |    |
|-----------|----|
| ①ヒット商品の開発 | 1件 |
|-----------|----|

商品名	事業者	製品詳細	販売実績
「五穀甘糰」 	藤勇醸造(株)	・ H30.10 発売開始 ・ 税込 230 円 <販売場所> 釜石特産店 伊ノ釜石・盛岡 盛岡クロスプラスほか	3,400 本

②その他商品化・実用化・利用普及に向けた支援 5件

商品名	事業者	製品詳細	販売実績
「菊芋クッキー」 	かまいしワーク・ステーション	・ H30.5 発売開始 ・ 税込 300 円 <販売場所> 釜石イオン 道の駅仙人峠など	1,100 箱
「菊芋たまり漬」 	(株)麻生 三陸釜石工場	H31.2 発売開始 ・ 税込 350 円 <販売場所> 橋野どんぐり広場 各道の駅など	300 個
「大槌磯ラーメン」 	大槌観光交流協会	・ 発売開始 H31.3 ・ 税込 864 円 (2食入り) <販売場所> ・ 大槌駅 ・ シーブライザ釜石(菊鶴商店) など	800 個
「改良釜石はまゆり酵母」 	貴重な地域資源である「釜石はまゆり酵母」の改良版の清酒醸造・清酒蒸留試験を実施。商業利用可能性を評価・検討した。		

### 橋野産「菊芋」の生産拡大



橋野産「菊芋」の生産量拡大を目的に、地元生産者への支援を行い、生産量が前年の約4倍に増えた。

・生産量約2t（前年約500kg）

ヒット商品開発プログラムは2年目の実施となり、1年目のモデル事業者の藤勇醸造(株)が事業プランどおり商品化に成功、岩手県主催の農林水産加工品コンクールで最優秀賞（グランプリ）を受賞するなど高い評価を受けた。

2年目のモデル事業者（ヤマキイチ商店、山崎清三商店）の事業プランについても今後、計画どおり商品化できるようサポートを継続する。

また、地域資源の利用・普及も順調に進んでおり、今後商品化を予定している物も多く、サポートを継続する。

### 3. 海洋エネルギー産業化推進事業（釜石市補助事業）

決算額：4,293千円（釜石市4,293千円）

#### 1 目的

岩手県海洋エネルギー産業化研究会を運営し、地場企業が海洋エネルギー産業へ参入する機会を促進し、研究開発や事業化を進めながら、地域経済の活性化と雇用の創出を図る。

#### 2 実施内容

##### (1) コーディネーターの配置

研究会活動をコーディネートする専門職員として、海洋エネルギー産業化コーディネーターを雇用した。

##### (2) 海洋エネルギー産業化研究会の開催

地域企業が海洋再生可能エネルギー産業への参入を促進すべく、下記のとおり開催した。

開催日	開催概要
H30.12.3（月）	「定期総会・第1回産業化研究会」 ※「INS 海洋と社会」との共催 会 場：釜石ベイシティホテル 参加者：50名 内 容： 【定期総会】 事業報告及び事業計画、役員改選

H31. 2. 12 (火)

【講演会】

- ①NEDO 事業リニア式波力発電研究開発について  
講師：(国研) 海上・港湾・航空技術研究所  
海上技術安全研究所  
海洋先端技術系長 藤原敏文 氏
- ②富山湾の生態系(漁業資源)を支える物質の循環について  
講師：富山大学大学院 理工研究部  
地球環境システム学系 教授張勁 氏
- ③現存最古 魚津水族館の歴史と活動について  
講師：魚津水族館 館長 稲村修 氏
- ④INS 研究会の活動報告  
講師：岩手県 地域振興室 清水健司 氏
- ⑤地元企業による風力発電事業の取組について  
講師：(株)A-WIND ENERGY 事業企画部長 野中健吾 氏
- ⑥釜石での海洋エネルギー事業の取組の現状について  
講師：釜石・大槌地域産業育成センター  
海洋エネルギー産業化コーディネーター 高橋修三

「第2回産業化講演会」

※「岩手県海洋エネルギーシンポジウム」と共催

会 場：釜石ベイシティホテル

参加者：42名

内 容：

【講演会】

- ①洋上風力発電の現状と再生可能海域利用法による今後の展望  
講師：(一社)海洋産業研究会  
常務理事 中原裕幸 氏、会長 高木健 氏
- ②海洋エネルギーの実用化に向けた発電コストの削減技術  
講師：合同会社アルバトロス・テクノロジー  
代表社員 秋元博路 氏
- ③空気タービン式波力発電装置の開発  
講師：エム・エムブリッジ(株)  
生産・技術部 部長代理 木原一禎 氏
- ④海洋エネルギーと漁業協調に関する研究開発動向と水中カメラ調査  
講師：東京大学生産技術研究所 助教 吉田毅郎 氏
- ⑤実証フィールド海域における魚種及び資源量調査  
講師：岩手大学三陸水産研究センター 准教授 後藤友明 氏

### (3) 周知・啓蒙活動

専用ホームページにて活動報告を行ったほか、一般市民を対象にしたイベントに参加し、広く周知、啓蒙を図った。

①「夏休み！親子で楽しむ まちなかあそび」

H30. 8. 11～12 イオンタウン釜石

②「釜石・大槌産業フェア」

H30. 12. 5 産業育成センター ※釜石商工1年生(90名) 対象

### 3 結果

情報の発信と収集および研究会の開催により、海洋エネルギー事業への理解が進んだ。研究会会員企業が増加し、事業化への参入の機運が高まった。

重要事項である漁業協調に資する、課題解決につながる多くの情報が得られた。

研究会会員：3社増加

※「海洋エネルギー産業化研究会」(H31.3月現在)

会員数：50社(企業35、大学・高専4、行政7、商工団体・支援機関4)

## 4. ローカルエネルギー発電デバイス開発支援事業(岩手県委託事業)

決算額：2,684千円(岩手県2,684千円)

### 1 目的

海洋エネルギー事業については、昨年度まで実施したNEDO事業や岩手県、釜石市補助事業の実施により、釜石市の地元企業において海洋エネルギーに係るノウハウやベース技術を獲得することができた。

今後、エネルギーの地産地消に向けた取組を進めるために、ローカルエネルギー発電デバイスの開発に向けた支援を行い、海洋エネルギー関連産業の創出を図る。

### 2 実施内容

#### (1) ローカルエネルギー活用検討会の開催

発電デバイスに関し、開発の方向性や事業化の検討を行うための検討会を開催した。

・開催日 H30. 9. 11 (火)、H30. 10. 30 (火)、H30. 11. 19 (月)、  
H30. 11. 27 (火)、H30. 11. 28 (水)、H31. 1. 15 (水)、  
H31. 3. 1 (金)、H31. 3. 6 (水)

・メンバー 岩手県海洋エネルギー産業化研究会、(株)マリンエナジー  
岩手県科学 ILC 推進室、釜石市企業立地課、  
産業育成センター

(2) ローカルエネルギーに関する意見交換会の開催

地域ニーズを発電デバイスの開発の方向性に反映させるため、地元関係者（企業、漁協、行政等）との意見交換会を開催した。

- ・日 時 H31. 1. 28 (月) 14:00～16:30
- ・場 所 産業育成センター 第3研究開発室
- ・出席者 16名

(3) 発電デバイスに係るトライアル活用

発電デバイスの仕様検討、また、活用の実現性を把握するため、既存の発電機を用いたトライアル活用を実施した。

(4) 先進地視察調査の実施

海洋エネルギーを活用している事例地視察や技術開発動向等の調査、情報収集を行った。

①「再エネテクノブリッジ in 秋田」講演会・施設見学会

- ・日 時 : H30. 10. 11 (木) ～12 (金)
- ・場 所 : 秋田市民交流プラザ、(株)ウエンティ・ジャパン、  
ユナイテッドリニューアルエナジー(株)

②「ふくしま再生可能エネルギー産業フェア」

- ・日 時 : H30. 11. 7 (水)
- ・場 所 : ビックパレットふくしま (福島県郡山市)

③「海洋教育フォーラム／久慈港湾総合啓発促進協議会講演会」

- ・日 時 : H30. 11. 22 (水)
- ・場 所 : 久慈市民文化会館 (久慈市)

④「福井県ブローホール波力発電施設見学及び新潟県海洋エネルギー実証フィールド関係者意見交換会」

- ・日 時 : H31. 2. 18 (月) ～20日 (水)
- ・場 所 : ブローホール波力発電施設 (福井県越前町)、  
新潟工業短期大学 (新潟県新潟市)

⑤「五島市浮体式洋上風力発電施設／漁業共生講演会／関連企業・施設見学」

- ・日 時 : H31. 3. 15 (水)
- ・場 所 : 崎山沖、福江総合福祉保健センター等 (長崎県五島市)

⑥「波力発電研究開発調査」

- ・日 時 : H31. 3. 19 (火)
- ・場 所 : 福島県立勿来工業高校  
電子科科长 佐武哲也氏 (福島県いわき市)

(5) その他

海洋エネルギーに関するニーズ・シーズ等の把握のため、岩手大学三陸水産研

究センターの後藤友明准教授や一関工業高等専門学校の若嶋振一郎教授ほか、関係企業への訪問を行った。

### 3 結果

情報収集及び関係者との連携構築を積極的に進めたことにより、地域住民や漁業関係者にも役立つ可能性が高い、自然や地域と共生する地産地消型の海洋エネルギープロジェクトへの参画の足掛かりを得た。

釜石を実証地とする次年度の国の大型公募事業への申請の目処がたった。

## 5. 新分野進出及び技術力向上のための研究開発に関する事業

当地域における新産業の創出を図ることを目的に、「セルローズナノファイバー（CNF）を活用した地域分散型・適量生産システムの構築」をテーマとした、勉強会を開催した。次世代高機能素材として注目されているCNFの用途開発に関する議論を積み上げることが出来た。また、森林総合研究所及び三井物産との連携体制が構築できた。

### ・実施内容

#### (1) CNF勉強会の開催

- ・日 時：平成30年4月26日（木）  
平成30年5月21日（月）
- ・参加者：釜石・大槌新製品研究会メンバー・関係者

#### (2) 森林総合研究所との意見交換会の開催

- ・日 時：平成30年9月25日（火）
- ・参加者：釜石・大槌新製品研究会メンバー・関係者、  
森林総合研究所 ディレクター 眞柄謙吾 氏、  
〃 チーム長 下川知子 氏、  
三井物産（株） 室長補佐 西野昭文 氏

## 6. 情報の収集及び提供に関する事業

当センターホームページ及び電子メール等を活用し、セミナー等の開催情報や国・県・市町村等の補助金公募に関する情報等を随時提供した。また、Facebookを活用し、事業実施内容等をタイムリーに情報提供した。

その他、当センター1階及び2階ロビーのほか、連携のある県内外の関係機関にて、地域企業等の製品展示を行い、製品及び技術紹介を行った。

#### ・実施内容

- (1) インターネットを活用した情報発信
  - ・当センターホームページ、電子メール、Facebook  
(セミナー情報、補助金情報、会員企業情報等)
  - ・海洋エネルギー事業ホームページ (当該事業の情報提供)
- (2) 製品展示
  - ・1階、2階各ロビー (地域企業の製品、RWC向けお土産品等)
  - ・東大阪市モビオ (地域企業製品及び海洋エネルギー事業のPR)

### 7. 知財・特許関連

地域中小企業者等が産業財産権 (特許・実用新案・商標・意匠) の出願の検討に対する協力・支援を目的に、先願の検索調査や出願手続き等の相談対応の他、岩手県発明協会との共催により、当センターを会場に下記事業を開催した。

#### ・実施内容

『知財専門家による相談会』

- ・第1回：平成30年5月23日 (水)
- ・第2回：平成30年8月22日 (水)
- ・第3回：平成30年11月28日 (水)
- ・第4回：平成31年2月27日 (水)

### 8. 企業間交流の支援や人材育成に関する事業

地域における企業間・産学官の連携・交流を促進し、新規事業の創出や新たな取引の拡大等を図るため、地域中小企業者や大学、公設試験研究機関、行政及び関係機関を対象に開催した。

#### ・実施内容

(1) 「東北IM連携協議会 ワークショップ in 釜石」の開催

- ・日 時：平成30年6月28日 (木) ～29日 (金)
- ・場 所：釜石情報交流センター 釜石PIT
- ・参加者：80名
- ・内 容：  
【28日】 開会 主催者・共催者・開催地あいさつ  
東北IM連携協議会 代表幹事 柿崎 博美 氏

東北経済産業局 地域経済部 次長 渡邊 善夫 氏

釜石市 市長 野田 武則 氏

講演1 「日本のIM活動二つ目の岐路へ」

一般社団法人JBIA 会長 星野 敏 氏

講演2 「釜石市の復興の取り組みと現状」

釜石市復興推進本部 事務局長 熊谷 充善 氏

発表 「産業育成センターの取組(支援事例及び施設活用・課題等)」

釜石・大槌地域産業育成センター 専務理事 小笠原 順一

※発表後、「産業育成センターの施設有効活用」、「ラグビーワールドカップ」、「勝ち残る新産業創出」をキーワードに、3つのグループに分かれて意見交換。

#### 【29日】企業等見学

・新日鐵住金株式会社 釜石製鐵所・鉄の歴史館

#### (2)「釜石・大槌企業交流プラザ」の開催

- ・日 時：平成31年2月25日(月) 15:00~18:30
- ・場 所：ホテルサンルート釜石
- ・参加者：77名

##### ①講演会(第1部)

産業創出を目的としたシーズ発表会・企業の事例紹介

時 間	内 容
15:00~16:30	主催者挨拶 公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター 副理事長 山崎 長也 氏 (釜石商工会議所会頭) 国立研究開発法人産業技術総合研究所 東北センター 所長 松田 宏雄 氏
	国立研究開発法人産業技術総合研究所 研究シーズ紹介 ①演題：「人の導線解析による活人化」 講師：東北センター所長代理 伊藤日出男 氏 ②演題：「食品の機能性評価とその周辺技術の紹介」 講師：生命工学領域 研究戦略部 研究企画室
	釜石・大槌地域企業による事例紹介 ①工業ものづくり 株式会社ササキプラスチック ②食産業 有限会社ヤマキイチ商店

②講演会（第2部）

産業技術総合研究所 中鉢理事長特別講演

時 間	内 容
17:00～18:30	演題：地域産業創生にむけて 講師：国立研究開発法人産業技術総合研究所 理事長 中鉢良治 氏

③ポスターセッション

時 間	内 容
16:30～19:30	ポスターセッション（会場：2階 桐の間）

（展示企業・団体）

- ・国立研究開発法人産業技術総合研究所 （研究シーズ紹介）
- ・岩手大学釜石ものづくりラボ （ ）
- ・公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター （海洋エネルギー事業紹介）
- ・釜石・大槌等企業 （事業紹介、新製品紹介等）
- ・高付加価値型ものづくり技術振興事業 （事業紹介） ほか

**9. 市場開拓の支援に関する事業**

県内外のものづくり地域との交流により、加工技術の情報交換や受発注情報など有益な情報交換を図り、共同受発注体制の広域ネットワークの形成、部品生産・供給・加工のサプライチェーンを構築することを目的として、情報交換会「ビジネスマッチング in 釜石」を開催。また、地域中小企業の技術や取り組みを、市内高校生等に広く理解してもらうことを目的として、地域中小企業が有する技術や商品を展示する、「釜石・大槌地域産業フェア」を開催した。

・実施内容

（1）ビジネスマッチング in 釜石

【展示会（企画展）】

開催日	開催概要
H30.9.20（木）～ H30.10.26（金）	会場：（公財）釜石・大槌地域産業育成センター 特設展示場 出展企業：36社

【情報交換会】

開催日	開催概要
H30.9.20 (木)	<p>「ビジネスマッチング in 釜石」講演会                      会場：釜石・大槌地域産業育成センター                      参加者：51人                      大阪地域、和歌山地域、岡山地域、長野地域、                      岩手地域の企業及び関係者                      内容：各地域より事例紹介                      企画展 出展企業によるプレゼン ほか</p>

【管内工場見学会】

開催日	開催概要	備考
H30.9.20 (木)	「ビジネスマッチング in 釜石」工場見学会 (1日目) 訪問先：釜石鉱山(株)	参加者 21人
H30.9.21 (金)	「ビジネスマッチング in 釜石」工場見学会 (2日目) 訪問先：同和鍛造(株) 釜石営業所	参加者 22人



(2) 釜石・大槌地域産業フェア

開催日	内容
H30.12.5 (水)	<p>「平成30年度釜石・大槌地域産業フェア」                      会場：釜石・大槌地域産業育成センター                      参加者（高校生）：釜石商工高等学校1年（90名）                      内容：                      ・釜石・大槌地域産業育成センター概要等                      ・育成センター内入居の各大学及び地域内企業より、                      技術・製品等の紹介（見学）                      ①地域企業展示場見学（18社）                      ②岩手大学三陸水産研究センター</p>

	③岩手大学釜石ものづくりサテライト ④岩手県立大学 ・地域内企業より、ものづくりに関する講演 ①グランバー ②エイワ
--	---

## 10. 補助金等申請支援関連

地域中小企業が新規事業等に取り組む際の協力・支援を目的として、国・県・市等の各種補助金制度の活用を勧め、その申請に係る申請書作成等の作成支援及び採否の結果によりフォローアップを行うもの。

また、様々な経営課題に対し、相談窓口として対応し、必要に応じて専門家派遣事業を活用し支援を行った。

### 【支援内容】

#### (1) 補助金申請支援

- ①ものづくり補助金：(株)釜石電機製作所、スズキプロソデント
- ②釜石市水産加工共同利用施設補助金：(株)雁部冷蔵
- ③いわて希望応援ファンド：(株)ササキプラスチック
- ④さんりく基金：釜石プライド実行委員会

#### (2) 計画認定支援

- ①経営革新計画：(株)エイワ、(株)川喜、(株)釜石電機製作所、スズキプロソデント
- ②先端設備導入計画：(株)エイワ、(株)川喜、(株)釜石電機製作所、スズキプロソデント

#### (3) 専門家派遣

- ①ミラサポ専門家派遣：釜石ヒカリフーズ(株)、(株)プラネックス、(株)ハートブリッジ、藤勇醸造(株)、(有)小島製菓

## 11. 会議関係

- (1) 理事会の開催 4回(定例2回、臨時1回、決議の省略1回)
- (2) 評議員会の開催 2回(定時1回、決議の省略1回)
- (3) 監事会の開催 1回

## 12. 一般管理業務

- ・センター運営、会館の管理
- ・賛助会員入会の案内、勧誘
- ・会館施設利用のPR

## 【 収 1 貸館事業 】

### 1. 貸館事業

地域中小企業の基盤強化や人材育成及び震災復興関連等、地域の産業再生や地域の活性化による公益の増進に資する利用者に対し、低廉な金額で財団の施設を貸し出すもの。

#### 【事業内容】

- ・会議室（大会議室・中会議室）の有料貸出
- ・コミュニケーションスペースをシェアードオフィスとして有料貸出

#### 【平成 30 年度実績】

##### (1) 大・中会議室の貸出

延べ 88 団体、収入額 949,050 円 (H29 : 86 団体、1,486,250 円)

※前年対比 : 63% 537,200 円減額

##### (2) シェアードオフィスの貸出

4 団体 : <月額 (税込) : 5,400 円/社>

No	企業・団体名	備考(業種)
1	(株)原川土木	建設業
2	(一社)三陸ユナイテッド	旅行代理店
3	(株)釜石プラットフォーム	キッチンカー(※H30.6 退室)
4	かまいし水産復興企業組合	はまゆい

##### (3) 研究室等貸出事業

- ・第 1 研究開発室 : 岩手大学
- ・第 2 研究開発室入居企業 :  
有明興業(株) ※H30.5 末退室  
(株)バイオ・パワー・ジャパン ※H30.11 末退室
- ・小会議室 : 岩手県立大学

### 2. 事務代行業業

釜石地方森林組合が実施する「釜石・大槌パークレイズ 林業スクール」の資金と財務の管理を受託し、同スクールの円滑な運営に寄与した。

本事業により、林業への理解の促進と地域の林業従事者の増加が図られた。

※平成 30 年度事業費 : 3,747,737 円 (受託収入 : 481,300 円)

- ・平成 30 年度受講生 26 名  
(1 期～4 期 : 通算受講生 90 名)